

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル①	非常勤職員や初任者の人材育成に取り組む、福祉サービスに従事する職員を育てています	
内容①	<p>常勤の職員は法人採用、非常勤職員は現地採用と入職の経緯は違いますが、施設における業務の内容は同じです。常勤職員は将来フロアマネージャーやリーダーとなって責任の大きさを担うこととなりますが、スタートの時点では同じで、福祉サービスに従事する職員としてのスキルを早く身に付けてもらうために入職から1か月の間1日の出来事を記録する実習ノートを書いてもらい、フロア担当者が目を通したうえで施設長に提出し、業務習熟の度合いを計っています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-2	利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している
タイトル②	利用者や家族等の希望や意向を尊重して個別支援計画を策定し支援しています	
内容②	<p>施設の理念のひとつに「利用者ひとりひとりをあるがままに理解し、必要な支援をきめ細かく実施する」とあるように、施設では利用者の意向を大切にしています。そのために、利用者を中心に、日中活動の様子や自宅での様子について、本人と家族を交えた話し合いの場を設け、現在抱えている悩みや不安、将来への夢や希望などについてそれらの改善・解決に向けて相談支援の実施に取り組んでいます。個別支援計画はこれらの要望を取り入れて丁寧に作成しています。さらに、半年に1度のモニタリングの際にも利用者や家族の要望を必ず明記しています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-12	【就労継続支援B型】就労の機会の提供や、知識の習得及び能力向上のための支援を行っている
タイトル③	利用者の工賃アップを目的に自主生産品の開発と販路の拡大を図っています	
内容③	<p>現在施設の受注先は14業者あります。ホームページを閲覧しての問い合わせも多く作業の種類は20種類以上あります。しかし、自主生産品の販売が無く検討を続けてきました。そこで、コンサルタントの協力を得て施設で作ることが可能な商品を模索した結果、かりんとう饅頭を現在製品化の準備中です。施設の夏祭りで試験的に販売した結果完売するほど好評でした。今後は設備の充実や販路の拡大に取り組む、収益をあげて利用者の工賃アップに繋がるように取り組んでいます。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	働きたいという意向のある利用者に対して知的な障害の軽重で選別することなく、利用者の関心や適性に合わせて作業活動を提供しています
	内容	施設の作業室ではボルト・ナットの組み立て、割りばしの袋入れ、部品のパッキング、ハーネスの組み込み等多様な仕事をしています。また、葛飾かりんと饅頭の製造、出張作業の車椅子の清掃などもあり、担当者はそれぞれの作業を細かく分析・分割することによって利用者の特性に合わせた工程を作り出しています。利用者は作業をすることによって報酬を得る事が出来、労働に対する対価という社会生活を体験しています。工賃の支払日にはそれぞれの作業量によって額が変わることを説明して目標意識を高めています。
2	タイトル	地域公益活動を始めてから、施設外での利用者の家庭、地域生活全般に対しても支援するようになっています
	内容	これまで、施設の中だけで利用者の支援をしていましたが、計画相談事業が始まってから、支援サービスが施設の中だけでなく、家庭生活全般に広がりました。利用者が孤立することなく社会的な支援が受けられるように地域活動支援センターを活用するなどのサービスにつなげるようになっています。また、家族が体調不調などのときに、利用者が病院に行く必要がでた場合には通院介助の支援を受けたり、休日に外出ヘルパーを利用するようには取りはからったりして、施設外での利用者の生活全般の支援をするようになっています。
3	タイトル	社会貢献事業として施設の特性を生かして就労意欲喚起支援をおこない成果を上げています
	内容	今年度から施設の社会貢献事業の一環として、地域に在住している生活困窮者を対象に就労に興味を持ってもらう事を目的に、就労意欲喚起支援事業を始めました。ボランティアとして受け入れ、施設の利用者と共に受託事業の作業をする事で仕事を楽しくしている利用者達に感化され、就労意欲に繋がりが仕事に就くことが出来ました。今後も施設の特性を生かして地域に潜在する対象者の中間就労に向けて支援を続けていく予定でいます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域に根差す施設として積極的に地域住民とのかかわりを構築することを期待します
	内容	施設は非常災害の時には2次避難所として障害のある地域住民を受け入れる用意があります。また、正面にある飲料の自動販売機は非常災害時には無料で提供できるように計画しています。しかし、施設のある地域は海抜0メートル地帯になり、地域を流れる荒川の氾濫には気を遣うところで、水害避難行動計画を策定していますが、災害の際には地域の多くの人々の協力が必要になります。町内には防災自治団があるようですが、防災協定を結ぶなどして利用者の安全の確保に取り組む事を期待します。
2	タイトル	現場での多様な支援内容に比較して、事務処理のスピードが追いつかないことがあり、処理能力を高めることが期待されます
	内容	現場での利用者支援は多様な作業活動だけでなく、日常生活支援、対人支援、余暇支援などの様々な支援活動があります。こうした現場支援活動だけでなく、職員会議、利用者とのタウンミーティング、作業を発注する事業者との打合せなど業務は多岐にわたっています。職員の現場での活動は、基本的には業務日誌やケース記録に記載したり、各種書類を作成していくことにつながります。しかし、とすると現場での支援活動に比べると、会議録作成、進捗管理といった書類の整備が追いつかないことがあり、今後の改善が期待されます。
3	タイトル	非常勤職員の医療知識の向上のための研修が必要になっています
	内容	施設利用者は知的障害と共に身体障害の重複障害をもつ利用者がいます。利用者の平均年齢は37、9歳と比較的若い人が多いのですが、高齢の利用者も数名います。正規の職員は生活介護支援事業の支援員の経験がある人が多く、一定の医療知識がありますが、非常勤の職員は福祉経験の少ない人が多く、医療面での知識が少ないことが懸念されています。知識や経験のある職員による内部研修や外部研修などにも参加して医療知識や介護支援技術の向上を図ることが必要と思われる。